

議会だより



題字は豊岡小6年 ^{にしだ}西田 ^{りこ}梨子 さんです

No. 105
平成28年7月28日
発行 大分県日出町議会
電話 0977-73-3135



目次

6月定例会

● 予算常任委員会	2
● 委員会報告	4
総務産業常任委員会・福祉文教常任委員会	
● 開かれた議会への取り組み	6
● 8人が町政全般を質す	7
一般質問	
● 議会構成	15
● 町民の声	16

やっぱりソーメンは冷たくておいしいよ



議員が編集した手づくり議会だよりです

議会などの審議の記録は町のホームページでもご覧いただけます。

平成28年

6月定例会

6月定例会は、6月10日から24日までの15日間の会期で開催され、補正予算や条例改正など議案15件、承認6件を審査しました。審議の結果、提案されたすべての議案を全会一致で可決。また、教育委員の任命など同意3件、請願1件、上水道統合に関する陳情1件についても全会一致でそれぞれ同意・採択し、国に対し、伊方原発稼働中止に関する意見書を提出します。

一般質問は8人が登壇し、町政についてそれぞれが当局の所信を質しています。

全員協議会では、平成27年度の一般会計や公共下水道事業、水道事業会計の繰越し、土地開発公社の経営状況を報告する議案4件、第5次日出町総合計画の概要の説明を受け、了承しました。その他、四国電力伊方原発3号機の再稼働中止の議員全員の意思統一を図りました。

【予算委員会】

既定の予算総額に歳入歳出それぞれ5576万円を追加、補正後の予算総額は100億1576万円となります。

【主な歳出】

小学校にエアコン

これまで学校単位でのエアコン整備を計画していましたが、国の補助が難しいため協議のうえ、町単独費用により最も必要性の高い教室から実施します。今年度は豊岡小学校の1・5年生教室と少人数指導教室及び大神小学校の1・5・6年及び特別支援教室に設置します。

1726万円

地方創生新型交付金事業

3カ年事業として体験・滞在型の観光振興と移住定住を促進します。

◆深見記念館

「おためし居住」のため、移住を希望する人が居住体験できるようにエアコン設置などの居室を整備します。

◆HiCaLi

喫茶スペースを整備し、備品も充実させます。

◆豊岡駅

空きスペースを活用し、地域の方々が気軽に立ち寄る交流の拠点になるよう整備します。

◆観光案内板

町の主要な観光ポイントの位置情報・説明を兼ねた案内板を設置します。

1600万円

◆防災対策費

熊本地震の際、熊本市に対し、アルファ米やオムツ、粉ミルクなど町の備蓄品を支援物資として送りました。その分の補充と新たにラジオや携帯用充電ケーブルなど避難所運営物資を整備します。

88万円

◆防災関連事業

防災マップ5000部を増刷しコミュニティ助成金(宝くじ)の全額補助で、豊岡長野区に防災資機材を整備します。また、地震対応した職員の間外手当を計上。

301万円

◆観光費

スポーツ合宿など団体観光客誘致のためのバス運行委託。また、大神海岸線観光振興として「日出フェス」の運営に対し助成をします。

100万円

協働のまちづくり事業

コミュニティ助成金として豊岡新町自治公民館の整備に補助します。

2500万円

◆戸籍住民基本台帳費

個人番号カード(マイナンバーカード)交付事業の委託費です。

672万円

◆保育施設ICT化推進事業

保育士の負担軽減のため、保育業務支援システム、事故防止用ビデオカメラの導入費に補助します。

501万円

◆自治公民館補助金

長野自治公民館の増築工事費及び清水自治公民館の外壁塗装修理工事費、それぞれに2分の1の補助をします。

142万円

◆愛瓢会補助金

全日本愛瓢会開催の日出町大会(日出体育館)に補助します。

50万円

【主な歳入】

事業実施に伴う国・県の支出金、地方債、財政調整基金繰入金で財源調整します。

四国伊方原発3号機の再稼働中止を求める

四国電力が再稼働を目指す伊方原発3号機の再稼働中止を求め、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、経済産業大臣に意見書を提出します。

【意見書主旨】

伊方原発の沖合5kmの海底には、巨大活断層「中央構造線」があり、南海トラフ地震とあわせて大地震が起きる可能性が非常に高いと指摘されている。

もし過酷事故が起きれば、閉鎖水域である瀬戸内海が放射能汚染され、その影響ははかり知れず、どの方向の風向きでも広大な地域が被爆地となる。また、福島原発事故の際、40km以上離れた飯館村が全村避難した現実を考えれば、一度事故が起きれば、大分県にも、遮るものがない海上を放射線ブルームが飛んでくることが予想される。事故に対する避難計画も未整備なため、再稼働を到底受け入れることができない。

少人数学級の推進と教育費国庫負担1/2の復元

県教職員組合別府支部酒井純氏提出の「少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元及び制度の拡充を図るための2017年度政府予算に係る意見書」に関する請願書を採択し、内閣総理大臣ほか関係閣僚に意見書を提出します。

【意見書主旨】

学校をとりまく状況は、障がいのある子どもたちへの配慮やいじめ・不登校への対応など困難化しており、授業時間や指導内容も増加している。きめ細かな対応や学びの質の向上を実現するためには、国の政策として教職員定数改善にむけた財源保障をすべきである。

豊かな教育環境を整備するため30人以下の少人数学級の推進と、教育の機会均等と水準の維持向上のため、義務教育費国庫負担金を2分の1に復元するとともに制度の拡充を図るよう国に要望する。

第5次となる日出町総合計画(案)の概要が提示されました。今後、パブリックコメントを経て、総合計画審議会の最終答申を受け、議会に提案されることとなります。

今後10年のまちづくり 第5次日出町総合計画

「しあわせ実感まち宣言」

現在町内に居住している方これから本町に居住する方に対し、今以上に快適さと暮らしやすさによりしあわせを実感し、住んでよかったと思っていたいたくために、社会情勢



真に必要な施策で

の変化や町民ニーズを的確に把握し、また町民・地域・企業・各種団体の意見を取り入れながら、真に必要な施策を効率的・効果的に行います。

7つの基本政策

- I 健やかで安らかに暮らせるまちをつくる
- II 未来に続く人と文化を育むまちをつくる
- III 安心・安全な生活を守るまちをつくる
- IV 産業振興により活力あるまちをつくる
- V 自然と都市機能が調和したまちをつくる
- VI 人のつながりを大切にするまちをつくる
- VII 生活に役立ち信頼される行政をつくる

町民主体・町民ニーズに対応し、多様な主体との協働により、個性を生かした創意工夫のまちづくりのため、目標指数を定め、計画的な行政運営を行うことを推進方針としています。

総務産業

議案等の審査結果

グリーン化特例1年延長

平成27年度税制改正で実施された、環境負荷に対して排出ガス・燃費性能の基準に依りて適用されている軽課税率（グリーン化特例）の特例措置が1年間延長されます。平成27年4月から29年3月に新規取得した三輪、四輪で基準を満たす車両は29年度分の軽自動車税に限り、課税が適用されます。

投票率の向上

町長選挙の投票は、記号式（○印）投票ですが、公職選挙法の改正により、例外とされているもの「点字投票・不在者投票」に「期日前投票」を加えます。

ため池事業の負担軽減

水田整備事業及びため池整備事業において、地元受益者から負担金を徴収していますが、担い手

不足や農業振興の観点から条件を満たす整備事業について負担率を一部引き下げます。

個人番号の情報連携

行政手続きにおける特定の個人を識別する番号（マイナンバー）の利用・提供において、情報連携が必要な予防接種法による給付・徴収に関する事務及び公営住宅法による住宅管理に関する事務を新たに加えます。



耐震改修中の役場旧庁舎

旧庁舎の耐震改修

小中学校の耐震工事を終えて、今年度ようやく役場旧庁舎を、工事費1億5258万円耐震、あわせて各階トイレなど改修します（29年1月末完成）。工事期間中は迷惑をお掛けします。また、庁舎新館の空調改修工事も工事費5116万円で行います。

漁協との協定解約

これまで、大分県漁業協同組合日出支店と浄化センター並びに大神漁業集落浄化センター設置に伴う協定により、漁業振興費を補助していましたが、協議の結果、納得いく条件での合意により、協定を解約することになりました。

投票所の変更

地の利の悪さが指摘されていた第8投票区藤原地区公民館が、保健福祉センターに変わります。太田区、是城区など不便とされる投票所の改善や期日前投票所の増設も課題として取り組みます。

豊岡公園事業の再開

豊岡公園は、平成9年から16年に、総額7億5千万円

をかけて主に用地買収を行い、諸般の事情により事業は中断していましたが、27年度から再開しています。計画では延長540m・幅員8mの園内道路や遊戯施設、展望広場、多目的広場を有する防災を兼ねた公園で、事業期間10年、総事業費9億5千万円（用地費国庫補助3分の1、事業費国庫補助2分の1）です。

大規模工事では、想定外の大幅な増額になることもあることから、今後の進捗にあわせ、整備内容や事業費をしっかりと精査していきます。

陳情の審査

「西の一簡易水道の上水道化」に関する陳情

西の一簡易水道組合世話人代表 井上幸夫氏（他4名）から提出されました。

【主目】

役員の高齢化により維持管理が困難になることから、上水道に統合・合併をお願いするものであり、全会一致で採択、速やかに必要な手続きを行うよう要望していきます。

閉会中の審査

4月22日開催

熊本地震の被害状況

日出町の被害状況は、瓦等家屋の崩壊が数棟、石垣の一部崩壊が5力所、水道水の濁りで、避難者数は129名でした。

工業地域周辺臭気測定調査

1年間を通し臭気の発生源を調査した結果、対象企業を特定しました。企業側には、今回の調査分析結果を理解していただき、8月までに改善する予定との回答をいただいています。

スズメバチの巣駆除費

スズメバチの巣の駆除に必要な費用の2分の1（上限6千円）を補助します。

農業委員の選出方法の変更

これまでの農業委員の選出は選挙制、議会推薦、共済・農協・土地改良区からの選出で実施してきましたが、法改正により、推薦・公募を実施の上、町長の任命制となります。定数は現行の半数の7名程度となります。

福祉文教

議案等の審査結果

条例の一部改正

日出町国民健康保険税条例

中間所得層の被保険者負担に配慮した、国民健康保険税の基礎課税等に係る課税限度額及び減額の対象となる所得の判定基準額を改正します。

日出町家庭的保育事業所等の設備及び運営に関する基準を定める条例

建築基準法施行令の特別避難階段の構造が改正されたことに伴い、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準に定める保育所等の避難階段の規定を改正します。

閉会中の審査

4月19日開催

陽谷駅周辺整備

陽谷駅自由通路及び陽谷駅コミュニティ施設が完成し、4月15日に完成記念式典が開催されました。

パスポートの発給

平成21年度より、町民にパスポート（旅券）の発給事務を行っています。パスポートセンターでは6日間、市町村では9日間を要します。

福祉関連新規事業

会員相互の育児に関する援助活動を支援する「ファミリーサポートセンター事業」、就学前の乳幼児を持つ保護者や妊娠中の方に対する「利用者支援事業」、広域連携（杵築市立山香病院Ⅱきつきつずヶアルーム、杵築中央病院Ⅱさくらんぼ）による「病児保育事業」、歯科検診やフッ素塗付、歯科保健指導する「2歳児歯科検診」を新規事業として行います。

学校管理事業

安全確保のため、小中学校及び幼稚園施設の老朽箇所修繕、小中学校のトイレを和式から洋式へ改修します。

文化振興室の新設

本年度から、資料館・記念館、致道館など文化財関連の業務

を統括する文化振興室が新設されました。

学校訪問

5月12・13日実施

小学校5校、中学校2校の町立小中学校全校を訪問しました。先生方からは個々の小さな要望はありましたが、ほとんどの学校が特別支援員の増員、エアコン設置の希望があり執行部へ要望します。



子どもが学習しやすい環境を

開かれた議会への取り組み

【議会改革特別委員会】

議会中継の取組み

昨年よりプロジェクトチームにより調査検討を進めてきた内容を精査した結果、ケーブルTVでの中継とすることを委員の共通認識とし、今後は議会改革特別委員会にて更なる調査研究を進め町民の皆様に情報の公開と共有を図り、開かれた議会づくりを進めていきます。

町民との意見交換会

昨年に引き続き各常任委員会ごとに町民との意見交換会を実施します。日程は別途ご案内いたしますので、より多くの方々の参加、ご意見をお待ちしております。

閉会中に予算常任委員会

当初予算に対して、決算審査や一般質問また、各委員会として取り上げられた課題

を、当初予算に反映するために、閉会中の予算委員会開催の実現に向けた検討を行っていきます。

議員活動服の必要性

今回の震災被害等の教訓から、議員が参加する防災訓練、被災地調査、災害対策要綱への対応を鑑み、議員自らの自覚と研鑽を積み重ね町民ニーズに因應するためにも災害時などに着用する活動服が必要であることが当委員会にて採択されました。今後、具体的な内容について引き続き協議を行います。

企業会計の勉強会を開催

税理士河野房雄氏(日出町)による企業会計の講義

平成28年2月24日午前10時から12時までの2時間、勉強会を開催しました。

日出町では、水道会計と土



しっかり勉強しました

地開発公社が企業会計となっております。今回、平成27年度水道会計決算書を参考にしして貸借対照表や損益計算書、キャッシュフロー計算書など詳細にわたり説明をしていただきました。今後の議会審議にしっかりと反映させていただきます。

議案質疑要領を再確認

【議案質疑要領】

- 一、議案質疑は、議案のみではなく関連した意見も質疑することが出来る。
- 二、通告期限は、一般質問と同様に最初の議会運営委員会開催日の午前中までとする。
- 三、1議案について、3回までの質疑をすることができ、質問時間は答弁を含め60分以内とする。
- 四、通告書は、本会議初日に全議員へコピーを配布する。
- 五、質問は、最初から質問席で行う。

教育改革に期待します

教育委員会委員

次の方が新しく選任されました。



阿部 雅子 氏
(川崎・則次)



岡山 栄蔵 議員
(川崎地区)

問 計画にある避難所の検証は行っていますか

答 災害情報を的確に把握し、対応します

問

大規模災害時に混乱した医療体制を速やかに調整・復旧を行う災害医療コーディネーターとの連携は。

総務課長

町と直接的な連携はありませんが、医療が必要な人の情報を確実に県に伝えていきたくと考えています。

避難所の対応

問

現在の防災マップでは、災害危険箇所内に避難所がありますが、実際に災害が起きたときにはどう対処するか検証していますか。

総務課長

災害の状況によっては利用できる避難所とできない避難所があります。災害情報を的確に把握し、対応します

確に把握して、避難所の対応を行っていきます。

問

避難所での衛生管理、トイレの課題は多くの健康障害を引き起こす恐れがあります。避難生活におけるこの課題にどう対処しますか。

総務課長

熊本地震でも感染症や工ノミ一症候群による災害関連死が問題になっています。トイレの使用を控えることで健康被害が起こりやすくなるため、仮設トイレの確保やマンホールトイレの設置などの方策を考えていきます。

問

被災によるストレスでさまざまな健康被害を起こす可能性がありますが、災害弱者に対する避難所での対応策は。

福祉対策課長

要配慮者の安全性の確保と配慮内容や特性に即した支援を実施するよう県が策定している福祉避難所開設運営マニュアルに沿っていきます。

学校における

防災・減災対策

問

全国的にも広がり、県でも昨年から認証をはじめている『ジュニア防災リーダー』の育成は町でも行っていますか。

学校教育課長

『ジュニア防災リーダー』の認証は行っていませんが、自主防災組織の育成、強化のためには必要であると考えています。

今後の課題

問

これからの実践的防災訓練は、住民一人ひとりが一定の責任と役割を果たす参画型防



特別な配慮がなされた福祉避難所

災訓練に変えていかなければなりません。住民の自主防災に対する意識向上策を考えていますか。

総務課長

防災まち歩き講座や出前講座を日出町防災士会に委託するように計画をしています。

質問を終えて

地域コミュニティで、助け合い体制を構築できることを願います



阿部 真二 議員
(大神地区)

問 危機管理課を設置する
考えはありますか

答 前向きに検討します

ていますか。

総務課長

庁舎が使えない場合は中央公民館、保健福祉センターなどを使っていく計画です。

問

BCP(業務継続計画)の導入を検討をしていますか。

総務課長

早いうちに全庁挙げて取り掛かりたいと思います。

防犯対策

問

警察、消防などの連携や

協働にはどのような活動がありますか。

総務課長

防犯協会を通じて見回り、啓発活動を行っています。

問

大規模災害が発生した場合の空き巣被害防止策は。

総務課長

行政対応には限界があるので各自治区、自主防犯パトロール隊にパトロールのお願いをしていきます。

問

小学生の防犯ブザー保有率と使用可否の確認は。

学校教育課長

小学生の保有率は58%となっています。使用できるかは学級で確認し、家庭での確認も呼びかけていきます。

●その他、行政業務の効率改善の質問・提案を行いました。

質問を終えて

有事の際、すぐに対応できる体制と備えを

想定しています。備蓄品の内

容はアルファ米・5400食、毛布・1800枚、大人用オムツ・500枚、子ども用オムツ・1800枚、生理用品・1700枚を確保しています。

問

熊本地震の被災地に実際に赴き、段ボールベッド、悪臭対策品が必要であると確認しました。今後、備蓄する計画はありますか。

総務課長

計画的に備蓄します。

問

庁舎が機能しなくなることも想定できますが、防災センター的な構造物の設立は検討し

問

有事の際に迅速かつ整然と対応できるための課を設置する考えはありますか。

総務課長

県内でも半数以上の自治体で防災担当課を設置しています。必要性は十分認識していますので全体の組織を見ながら前向きに検討します。

問

防災担当者2名で足りていると思いますか。

総務課長

災害が起きた場合は、足りないと思います。

問

被災想定と備蓄品・備蓄量の算定根拠は。

総務課長

県が試算した南海トラフ地震の避難者数を1692人と



プライバシーが確保される段ボールベッド



岩尾 幸六 議員
(川崎地区)

問 自主避難方法の周知は

答 広報誌やホームページでお知らせします

問 災害時住んでいる場所が危険と判断し自主避難する場合、町民はどの行動すればよいですか。

総務課長 災害の心配があると判断したら、まず役場へ連絡してもらいます。その情報を元に避難所の開設を行っていきたくと考えています。

問 自主避難の判断や役場への連絡など、知らない方のために町報で自主避難方法の周知を行うことは可能ですか。

総務課長 いかなる災害に関しても不備があつてはならないため、避難所の開設方法に関して、広報誌やホームページで周知を考えています。

町長 川崎体育館は、入口の道路拡幅と駐車場整備を計画していますので、トイレ問題も同時に検討します。

問 町内のトレーニングルーム施設

問 トレーニング機器には故障機器もあります。点検や修理は誰が行っていますか。

政策推進課長 機器導入業者と契約を結んでいますので、年2回保守点検を行っています。修理は、危険性の高いものから順次計画的に実施していきます。

問 トレーニングルーム

川崎体育館は、指定避難所となつていますが、防災倉庫と障がい者用トイレが整備されていません。設置計画はありますか。

総務課長 防災倉庫は早い時期に設置したいと考えています。障がい者用トイレは、施設管理課の生涯学習課と検討します。

トレーニングルームは、体力維持や故障個所の改善のために利用しています。トレーナーがいなく独自の運動をしているようですが、トレーナーの配置はできませんか。



安全な機器でトレーニングを

福祉対策課長

福祉センターでは、健康運動普及推進員がボランティア活動で機器の利用方法やストレッチ方法のアドバイスを行っています。川崎体育館にも、今後ボランティア団体の方々をお願いしていきたいと思えます。

質問を終えて

トレーニングルームにはある程度の知識を持ったトレーナーの設置を



池田 淳子 議員
(藤原地区)

問 避難所運営の反省点は

答 マニユアルの整備が急務です

問 熊本・大分地震による日出町の被害状況は。

総務課長 人的被害はありませんが、家屋の一部損壊により罹災証明の申請が10件出ています。他に、農業用道路1件、農地が4件です。

問 自主避難された方がいたようですが、避難所運営は円滑に行えましたか。

総務課長 6力所の避難所を開設し、1力所あたり、3名の職員を配置しましたが、それぞれ臨機応変に対応しました。

問 今回の地震による避難所運営の反省点、また今後の課題はありますか。

福祉対策課長 15力所の指定施設と協定を締結しています。県と大分県

総務課長 避難する人数が少なかったため、避難所の場所割りなどを決めず避難者にある程度自由に使ってもらいました。しかし、熊本のように被害が大きき避難者が多くいた場合は場所が足りないなどの問題が出てくると思います。また、マニユアルができていないのが実情で、関係団体と協力体制を築きながら早めに作りたいと考えています。

福祉避難所

問 町内に福祉避難所は何力所ありますか。また運営マニユアルは。

福祉対策課長 15力所の指定施設と協定を締結しています。県と大分県

社会福祉協議会が示している福祉避難所開設運営マニユアルに沿って行っています。

問 ロタウィルス予防接種

福祉対策課長 町で行っている乳幼児への予防接種の種類は。

福祉対策課長 現在、定期予防接種がポリオ、四種混合、麻疹、風疹、二種混合、日本脳炎、BCG、水痘、ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がんです。また、28年度の10月からB型肝炎ワクチンが定期予防接種になる予定です。

町が公費助成している任意の予防接種は、おたふく風邪、インフルエンザ、妊娠を希望する女性や妊婦の配偶者の風疹です。

問 ロタウィルス感染症

は急性胃腸炎を引き起こし、下痢や嘔吐の症状が激しいのが特徴ですが、予防接種を推奨していますか。

福祉対策課長 特にしていません。

問 予防接種にかかる費用は約2万6千円と高額で、子育て世帯には大きな負担です。全額でなくても公費助成を行う予定はありませんか。

福祉対策課長 今後、町内の小児科医や他の自治体との情報交換をした上で検討したいと思います。



すくすく成長しています

質問を終えて必ず起こる自然災害自助・共助の再認識を



佐藤 隆信 議員
(大神地区)

問 町は伊方原発再稼働反対を

答 特に町として反対を
考えていません

問 伊方発電所のすぐ近くに活断層が通っています。原発の安全基準の揺れは600ガルとされるなか、熊本地震では900ガルを超えたことを考えると再稼働してはならないと思います。再稼働反対を愛媛県と、伊方町に要望する考えはありますか。

町長 大分県は内部の会議等を踏まえて申し入れをしていますが、それぞれの自治体の判断になります。一定のルール、ルートがあるので、現段階では単独で特に町として反対を申し上げることは考えていません。

問 太陽光発電設置に対しては災害防止対策を

町長 町の多くの地域で太陽光発電が設置されトラブルがおき、災害もおきる恐れもあります。町の対応は。

政策推進課長 やはり事業者の責任において災害防止に努めなければならぬということ。事業者に指導、助言をしています。

問 地元と業者の間でトラブルがおきたとき要望があれば町は話し合いに応じますか。

町長 課題は多いですが、ここまできると町としての役割も一定の形で果たしていかねばならないと思っています。

問 危険な場所での設置は、地質調査や水質調査などの費用を町が支援をすべきでは。

町長 事業者に対して、町が作った資料をもって事業を中止しなさいというのであれば、なかなか難しいということになります。

問 現在ある要綱に、危険な箇所などには設置できない項目を増やし条例に。

町長 対応には限界があると考えています。

問 地震や風水害に支援を

町長 国や県の災害基準にあたらぬ個人の家地や、水田、畑などの災害に支援を。

町長 地域の方のご意見があり、いろんな要素が絡めば可能だと思っています。



大雨による町内の災害箇所

問 医療費の無料化

町長 町立立候補予定者のお二人とも中学校までの医療費無料化を政策に掲げています。どうお考えですか。

町長 私はできないと思います。が、全体的な事業予算を見てどう考えるかです。できたら大変すばらしいと思います。

質問を終えて

真那井の太陽光は水害で事故がおきました。町は町民の安全を



川西 求一 議員
(豊岡地区)

問 学校でのフッ化物洗口の実施は

答 全小学1年生希望者を対象に導入します

ですが、これまでの経緯と現状はどうなっていますか。

る洗口は、今後実態など十分に把握して、異論を含めた協議が必要ではないですか。

問 「第2次いきいき日出町健康・食育プラン」が昨年3月に策定され当該計画に基づき現在実施されていますが、歯の健康分野での町における虫歯の現状と傾向はどのようになっていますか。

向にありますが、その対策は。

平成25年12月、県が策定した「歯と口腔の健康づくり推進条例」に基づき、26年度から各学校の代表による検討会を開催し意見交換を進めています。今年度からは、日出町歯科医師会、学校薬剤師、町P連各代表を検討委員として、専門家から有効性・安全性のアドバイスをもらい実施時期や方法など具体的な話を進めていきたいと思っています。

判断は教育委員会に任せなければなりません。子どもたちを元気に、歯の健全化を目指していく点では、町政としても変わりはありません。

福祉対策課長

福祉対策課長

問

財政課長

26年度のデータでは、1歳6カ月児の虫歯保有率は2・2%、3歳6カ月児は25・3%となっています。

今年度から2歳児の歯科検診に取り組み、歯科医師による検診、歯科衛生士による個別指導と集団指導、フッ化物の塗布を始めています。

行政でも生涯にわたる歯の健康への取り組みが紹介され実施しています。学校で医療行為ともとれるフッ化物による

26年度寄付113件・713万7千円、返礼品30万542円。27年度寄付182件・1526万6千円、返礼品101万8637円となっています。

問 それぞれの受診率は。

27年度受診率は1歳6カ月児が98・3%、3歳6カ月児は95%です。

問

1歳6カ月児から3歳6カ月児になるまで虫歯の増加傾向



県教育委員会のリーフレットより

質問を終えて
説明責任の意味合いを熟考し、果たしていくことが重要



災害への備えが大切

問 災害の恐れがある管理者のいない水路などの対応は。

里道・水路の管理

災害時に商品を優先的に提供してもらい、後日支払いをするというやり方だと思いません。大分県や大分市では協定を締結している状況ですので、そこを参考にしながら検討します。

問 予防事業の現状は。

国保・介護保険の予防事業

健康増進課長 国保では、特定健診やがん

質問を終えて
福祉条例は職員共通の認識として新町長のもと取り組んでほしい

問 熊本地震では車中泊の避難者が多かったことが特徴です。避難者の集まる公園などに防火水槽を使った簡易トイレを設置しては。



熊谷 健作 議員
(豊岡地区)

問 防火水槽型の緊急用トイレ設置を

答 検討します

総務課長 制作している業者がありませんので検討します。

問 町の中心部にはスーパーやコンビニが集中し、またホームセンターもあります。災害時の物資提供の協定を結んでは。

総務課長 町を中心にスーパーやコンビニが集中し、またホームセンターもあります。災害時の物資提供の協定を結んでは。

福祉条例

都市建設課長 通常境界確認や用途廃止等の財産管理は町で行っています。ただし、維持修繕や清掃等の機能管理は地元利用者が行うようになっていきます。
農林水産課長 補助金交付規程の見直しを考えています。地元負担の割合を下げたいと思います。

問 「障害のある人が安心して暮らせる条例(略)」が別府市、大分県で制定されましたが町での予定は。

福祉対策課長 県条例を守りながら共生していく社会を築くことが大事だと思います。課題が見つければ条例を制定したいと思います。

問 国保は平成30年から県で一されます。町民の健康寿命を伸ばすためのさらなる取り組みは。

健康増進課長 いきいき日出町健康・食育ポイントプロジェクトを7月から展開します。目標達成ごとにポイントを集めて景品を獲得するものです。今後地域全体で高齢者を支える体制に取り組んでいきます。



工藤 健次議員
(大神地区)

問
3期12年、町政運営の実績は

答
町民生活の基盤環境整備を進めました

問
町長は、合併をしない道を選び、これまで行財政構造改革を進めてきました。今日の日出町をつくった12年間の実績は。

町長
1期目は、町政の刷新と浮揚に挑戦、諸課題の解決に向けて取り組んできました。2期目は第4次総合計画に沿い、人と自然が調和したふれあいと活力ある町づくりをテーマに、円滑な町政運営のために事業の選択と集中を積極的に行いました。3期目は、協働で育む元気発展の日出町をスローガンに、重要施策の早期な完成を目指して努力してまいりました。就任当初から人口問題を強く意識、人口3万人の町づくりを進め、人

口増加の町として評価をいただきました。日出城址周辺、高校跡地を利用した陽谷駅周辺整備事業を一応完成することができました。財政運営での基金積み増しや借金である町債も多少減らし、財政状況はやや好転し財政規模も拡大の方向になっています。子育てに関しては、放課後児童クラブの設置、保育所サービスの充実等を推進、学校関係は、豊岡・大神小学校の校舎新築、耐震強化事業等、育む環境づくりに努力させていただきます。

問
職員の意識改革



様々な職員研修を行っています

うにしていますか。

総務課長

庁内研修として、新採用、若手、中堅、係長級、課長補佐級、課長級に分けて、その時々に適した内容を研修しています。必要に応じて、全職員を対象に、人権研修、メンタルヘルス研修、ハラスメント研修や県、市町村との合同研修所である公益法人大分県自治人材センターが実施している研修にも多く参加しています。リーダーシップ、モチベーション等の研修、民間企

活断層の把握は

問
町内の活断層をどのように把握していますか。

総務課長

政府の地震調査研究推進本部や国土地理院のホームページで、これまでの調査結果を見ることが出来ます。県の調査で、日出町の周辺には別府万年山断層帯が延びていることが確認されていますが、活断層は全てがはっきり分かっている状況ではないと認識しています。防災計画の中にも、活断層の記載をしています。が、今のところ詳しく調べたことはありません。

質問を終えて
意識改革の推進で組織の活性化を

議会構成決まる

就任のあいさつ



議長 白水 昭義



副議長 佐藤 隆信

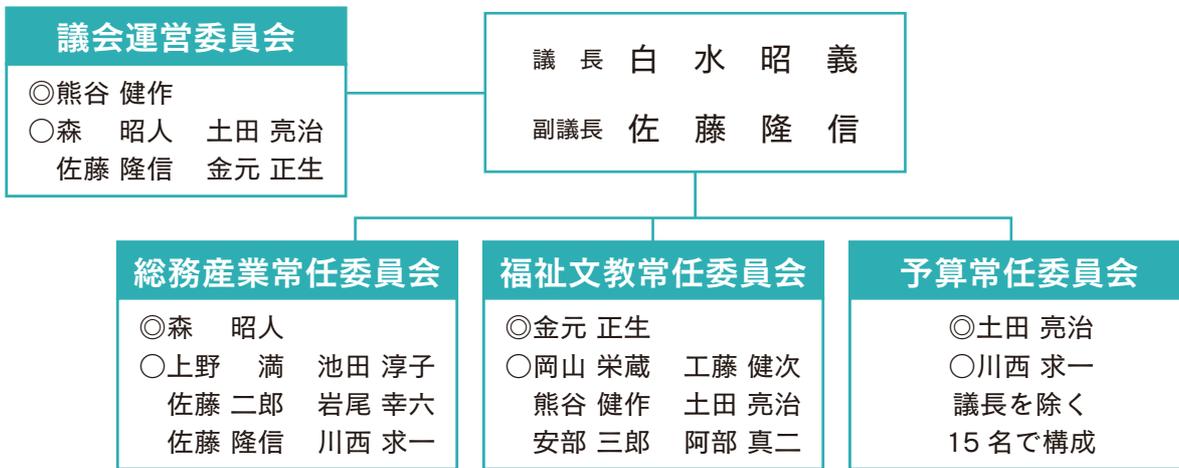
町民の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また平素より議会に対しましてご理解、ご協力を賜り、衷心より感謝、お礼を申し上げます。

さて、平成二十八年度を迎え、地方行政におきましても、少子高齢化、大災害など、いまだかつて経験したことのない事態に直面し、真に行政の真価が問われている時代といっても過言ではありません。日出町におきましても若年層の流出や高齢化が町政の発展を図る上で大きな隘路となつてきております。これを打開するためには、若い人に十分魅力ある活力溢れる地域社会を実現することが、何よりも肝要であります。

そのような中で日出町議会は、町民の皆様の声に真摯に耳を傾け、各議員が執行機関と議論を重ねることで、今後日出町の進むべき新たな道が開けてくるものと考えております。今後とも公正、円滑な議会運営はもとより、町議会の活性化、さらには日出町発展のために、粉骨砕身、努力してまいります。

新委員を紹介します

◎は委員長 ○は副委員長



特別委員会等

町議会報編集特別委員会 ◎森 昭人 上野 満 ○土田 亮治 阿部 真二 池田 淳子 岡山 栄蔵	議会改革特別委員会 ◎川西 求一 ○岩尾 幸六 熊谷 健作 佐藤 隆信 森 昭人 工藤 健次 金元 正生 阿部 真二	杵築速見消防組合議会議員 佐藤 二郎 安部 三郎 佐藤 隆信 岩尾 幸六 森 昭人
別杵速見地域広域市町村圏事務組合議員 熊谷 健作 阿部 真二 森 昭人 岡山 栄蔵 池田 淳子	杵築速見環境浄化組合議会議員 工藤 健次 金元 正生 土田 亮治 上野 満 川西 求一	大分県後期高齢者医療広域連合議会議員 白水 昭義
議会から選任する監査委員 安部 三郎		

町民の声

『川崎っ子公民館 クラブ』に携わって



川崎内野区
赤迫 修一

川崎地区公民館では、毎年、川崎地区に居住するすべての園児・児童を対象に、安心して安全な子ども居場所づくりを地域の方々と協働で、川崎っ子公民館クラブを開催いたしております。

このクラブは、勉強や文化活動を通じて異世代との交流を楽しみ、子どもたちの健やかで心豊かに育める環境づくりと、地元への愛着を深めていくことを目的としています。

この運営にあたるのが川崎っ子クラブ運営委員会です。川崎地区の各種団体等で構成され、事務局は地区公民館となっております。

今年度からは、企画・実行委員会を設立し、クラブで行うイベントの企画や立案を行い、当日の運営も行っていただきます。

このクラブでは、6月と9月から翌年の3月までは月2回実施し、1回は川崎小学校でなかなよし児童クラブとの合同開催で、昨年は勉強の後、グラウンドゴルフ、二階堂美術館見学、お菓子づくり、お寺での座禅会等を実施し、グラウンドゴルフでは時を忘れて集中する姿が印象的で、二階堂美術館では初めて見る本物の絵画におどろき、座禅会では警策で背中をたたかれ泣きそうになる等、子どもたちはいろいろな事を体験しました。

7月と8月については、夏休み川崎っ子公民館クラブとして5日間開催し、今年も昔の遊び体験・七夕飾り・ソーメン流し、運動会等を実施いたします。

このクラブに参加する子どもたちは、保護者の話によれば学校や家庭ではあまり見せてない、生き生きとした活動的な姿とお聞きし、子どもたちがいつまでも出町の川崎に住んで良かったと思ってもらえるような、企画・立案をし、川崎地区の各種団体等の協力をいただきながら続けていくことが大切であり、公民館長としてお手伝い出来ることに喜びを感じております。

議会を 傍聴してみませんか

今、町ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があつて、どう進んでいるのだろうか。あなたの身近なこともありません。簡単な手続で、だれでも傍聴ができますので、是非おいでください。

9月定例議会の予定

- 9月14日 議会運営委員会
- 21日 本会議(初日)
議会運営委員会
- 26日 本会議(議案質疑・一般質問)
- 27日 本会議(一般質問)
- 28日～29日 常任委員会(予算)
- 30日～10月5日 特別委員会(決算)
- 6日～7日 常任委員会(所管)
- 11日 常任委員会(予算)
- 12日 議会改革特別委員会
全員協議会
- 13日 議会報編集特別委員会
議会運営委員会
- 17日 本会議(最終日)

編集後記

はじめに、平成28年熊本地震でお亡くなりになりました皆様にご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災されました皆様、並びにそのご家族の皆様方に心からお見舞い申し上げます。そして、一日も早い復興を心よりご祈念いたします。

今回の熊本地震により、日出町の防災計画についてより深く考え、町民の命・財産を自らが守るため、行政を含めた個々が自立する(自助)とともに、救助や避難など個々が連携する体制(共助)や役所や消防・警察による救助活動や支援物資の提供など(公助)、普段から災害に備え、災害時に、それぞれの役割を果たすことにより、結果として、防災・減災につながっていくものと思えます。今回を機に町全体で防災・減災に取り組める事を願っております。

- 編集委員長 森 昭人
副委員長 土田 亮治
委員 池田 淳子
委員 上野 満
委員 阿部 真二
委員 岡山 栄蔵